

なかなか決まらぬ方がましなんでしょねえ

知り合いから聞いた話です。

「殿方は天下国家の話をするけど、家庭もよう守らん人ができるんですかねえ。やっぱり家庭が一番ですよ。家庭があつてこそ天下国家です。家庭がゴタゴタしてて、天下国家を語れますか」と曾野綾子さんが言うてましたそうです。ようわかりませぬえ。この曾野さんのご意見は。

そやけど、あえて言わしてもらいますと、たいがいの男は、家を出てオモテを走つてるときは、身近なところが見えない。スピード上げれば上げるほどわからないんです。上げすぎて身体を壊して、挙句の果ては家庭まで壊してしまう人も少なくありません。

改めて思うけど、早く自分に合うスピードを見つけないと。そして家庭の大切さにも気づかんとね。

僕も今年、喜寿になるんで、喜寿の速度を早く見つけないといけません。肉体的にも筋肉の減り具合を考えずに、四十代のスピードで走つたら、それこそ倒れてしまいます。

無理せんと走るか、四十代の筋肉を維持する管理をするか。それは人それぞれや、と思います。

この前、ゴルフ場で、知りおうた八二歳の方は、週三回はトレーニングセンターに行き、エアロビクスに精出してらるそうで

す。その人には、飛距離で負けます。

僕も、毎日、スクワット三〇回、腹筋一〇〇回はやりませぬ。ただ腹筋一〇〇回言うても、足伸ばしてするのやなくて、仰向けに寝て膝を立てて、上半身を起こすんです。

ここが若い人と違う中高年向きの腹筋運動です。若い人と同じ腹筋やったら、筋肉痛になってしまいますがな。その前に、よう上半身があたりませぬえ。

肉体的にも、また精神的にも怠らずに、一旦、事あらば「いざ鎌倉」と駆け付ける……。これ大河ドラマですな。今年の。そうそう、大河ドラマはあくまでテレビの中やから、ええけど、本当の戦争はあきませんなあ。

今回はどうしても 天下国家の話になります

ロシアがウクライナに侵攻しました。

それで、今回はどうしても、天下国家の話になります。

ウクライナとロシアの関係が複雑で、よくわからないところもあります。古くから近い関係にあったことは確かやと思います。

これを僕風の理解でやりますと、老舗やけど、昔、一回廃業



●(株)アオキ取締役会長
青木 豊彦 (あおき・とよひこ)



大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪府立大学学長特別顧問に就任。2020年、国立滋賀医科大学学外有識者会議委員に就任。(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事も。

したウクライナという会社が再創業しました。けれどまた、うまくいかんようになって、ロシアという企業の傘下に入りました。親会社のロシアは、ソビエト連邦という装いを変えた大企業をつくり、ウクライナはその中核企業となりました。

そやけど、所詮、下請けの哀しさでしょうか。親会社は蓄えが足りないといつて、あがりを全部持っていったり、敵対相手の盾に使われたりしたこともありました。結局、大手のロシアと組んでも、ろくなことはありませんでした。

それで、ソビエト連邦がつぶれたときに、いろいろ選択の余地あったけど、ウクライナはロシアの傘下から抜け出して、もっとよい条件で、付き合える相手をさがして、そちらと手を握ろうとしました。

そのとたんロシアが、今までいっしょにやってきたやないか、傘下から抜けさせんとぞ、と敵対してきたんです。

今度のこと、こう解釈したらどうでしょう？

**大手の上部に超ワンマンがおったら
何も言えないような環境やろうねえ**

もしウクライナに半沢直樹がおったら、「何言うのや」と倍返しどころか、一〇〇倍返しにや、ならないところですよ。

もつとも、ロシアでも、ウクライナに同情してる人も多いと思うけどねえ。

「半沢直樹」とは別のシリーズで、同じ池井戸潤さんの書いた「下町ロケット」シリーズは、大手と下請けの葛藤を描いてますが、大手にも下請けの佃製作所を応援してくれる人はおり



●青木さんのかかった人工衛星「まいど1号」は「下町ロケット」のモデルの1つとも言われる

ました。そやけど、大手の上部に超ワンマンがおったら、下の人は何も言えないような環境やろうねえ。

ロシアのプーチン氏が、そんな超ワンマンなんでしょうかねえ。誰も意見をよう言えないようですよ。

日本のような、いわゆる民主主義国家は、ああでもないこうでもない議論して、物事を決めないといけません。

しかも、決まるまでに時間かかって、それが必ずしもええ結論とは限りません。

ロシアのような国なら、さつと物事が決まり、動くのも早いです。

それが正しかったら、そっちの方がええのかもしれないけど、今度のように酷い選択になるなら、まだゴチャゴチャ言うて、なかなか物事の決まらない民主主義国家の方が、ましなんでしょうねえ。

みなさん、どう思います？